

正しい判断を

小 六

福島はもう住めない、安全には暮らせない。こんなありえないことがまん画になり、話題になっています。福島の放射線ひ害のことをえがいたこのまん画は、不安を招くと批判の声も上がっています。

私は、このまん画のことを聞いて、私が転校する時に感じた不安を思い出しました。私は、父が転勤になり、福島からA小学校に転校してきました。福島は、東日本大しん災によって引き起こされた原発事故のえいきよつで、放射線量が高くなっています。そのた

め、私は、ホールボディカウンターによる内部ひばくの検査をしました。今まで気にもしていなかった放射線。その検査をするということ、自分の体の中に放射線が入っていたらどうしようと、とても心配しました。幸いなことに、私には、問題がありませんでした。

しかし、福島といったら、放射線にお染されているというイメージを多くの人々が持っているというイメージがあります。そんな福島に住む人は、放射線にまみれた人だと誤解されているかもしれませぬ。実際、福島からひ難した人に対し、放射能がうつるといいういじめが起こっていると母から聞いたことがあります。その

ため、埼玉に引っこして来たら、私も
いじめられるかもしれないと不安で
いっぱいでした。

さらに、転入したA小学校は、児童
の人数がとても多く、前にいた学校よ
りもとても大きな学校なので、この学
校でやっていけるのだろうかと不安に
なりました。二つの不安が重なって初
めて学校に行った準備登校の時は、と
てもきん張しました。

「いっしょに机を運ぼう。」
きん張している私にA小学校の同級生
たちが、明るく、元気に声をかけてく
れました。私は、その一言を聞いて一
気にきん張がとけました。きつと、不
安でいっぱいできん張していたことに、
みんなが気付いてくれたのでしよう。

だから明るく元気に声をかけてくれ
たのだと思います。私は感謝の気持
ちでいっぱいになりました。この気
持ちを忘れずに、これから友達と
助け合って、過ごしていきたいです。

今、話題となっているこのまん画
では、原発事故によって福島の人た
ちは、鼻血やひ労感といったしよう
状が出るとえがいています。一方で
は、放射線との関連性はないという
人もいるとニュースで聞きました。
しかし、このまん画を読んで、福島
に対して不安に感じた人も多いと思
います。私もその気持ちは確かにそ
うだなと思います。私も、検査をし
た時、内部ひばくしていないかどう
か心配でたまらなかつたからです。

相手を傷つける言葉を使つてはいけないと、担任の先生はよく話してくれ
ます。その言葉によつて、相手はどう
感じるか、しっかりと自分の頭でよく
考えてから話さない、と教えていた
だきました。だから、このまん画を読
んだ人もありえない部分だけに注目す
るのではなく、自分で何が正しいのか
をよく考えて行動することがとても大
切だと思ひます。

私の周りには、放射能がうつるなど
といじめをする人はいません。むしろ、
そんな不安をふき飛ばすかのように、
明るく元気に声をかけてくれる人ばか
りでした。だから、私は、多くの人が
正しい判断をし、相手のことを考えら
れることができるといいなと思ひます。

もし、このまん画を読んで福島の
ことが不安になつた人がいたとした
ら、ただ単に福島のことをこわがら
ないでほしいです。その人なりの立
場で構わないので、福島の人たちの
不安をふき飛ばすような優しい思い
やりのある態度をとつてほしいと思
ひます。

私は、これからも、福島で生まれ
育つたことをほこりに思ひながら、
今、お世話になつてゐる家族や先生
方、友達、地域の人たちを大切にし、
周りに流されること
なく、いつでも正しい
判断ができる人間に
なれるようにがんば
りたいです。

